

ふむふむ

こうふうだいしょうがっこうとしょしつ
光風台小学校図書室

令和6年（2024年）9月号

9月といえばお月見や秋彼岸などがあり、昼と夜の長さがほぼ同じになる「秋分の日」を迎えると、それ以降は秋の夜長に向かいます。「防災の日」は、1923年（大正12年）9月1日に発生した関東大震災にちなんで、1960年（昭和35年）に制定されました。

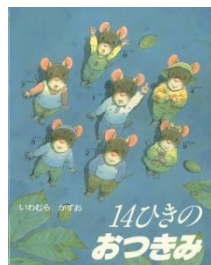


としょかんたんけん

ほんのしょうかい

- 『14ひきのおつきみ』 いわむら かずお

子供たちが一生懸命作っているものは——、お月見台。そうです、今夜は中秋の満月。14匹はみんなで力を合わせ、お月見の準備をしています。



- 『いもいもほりほり』 西村 敏雄

いもいも ほりほり いもほりほり。どんどんほり続ける4匹。

わーい、どろだらけ、どろだらけ、どろだらけ。

いろんなかたちのお芋がたくさん掘れて、いよいよ焼き芋です。

焼き芋を食べたら……、あれれ～。



・『地震がおきたら』 畑中 弘子：文 かなざわ まゆこ：絵

けんちゃんは小学3年生。ゆうちゃんは小学1年生。2人は学校から帰ってきて、避難訓練をしたことをお母さんに話します。



・『ほんとうのことしかいえない真実の妖精』 マット・ヘイグ：文 杉本 詠

美：訳

真実の妖精は、どんなときもほんとうのことをいってしまうせいで、友だちができなくて、落ち込んでいた。ある日、トロールをおこらせてしまい、ほうりなげられた。飛んでいった先は、人間の女の子の家。



そのほかに 『ばばあちゃんのやきいもたいかい』 さとうわきこ：作 『たぬきのおつきみ』 内田麟太郎：作 山本孝：絵 『まんまるいけのおつきみ』 かとうまふみ：作 『やきいもするぞ』 おくはらゆめ：作 『いもほりコロッケ』 おだしんいちろう：文 こばようこ絵